

令和7年度 全国がん登録担当者向け連絡会

# 届出に関するお願い

宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室

# はじめに

令和7年度の全国がん登録の届出について全施設から提出いただきました。

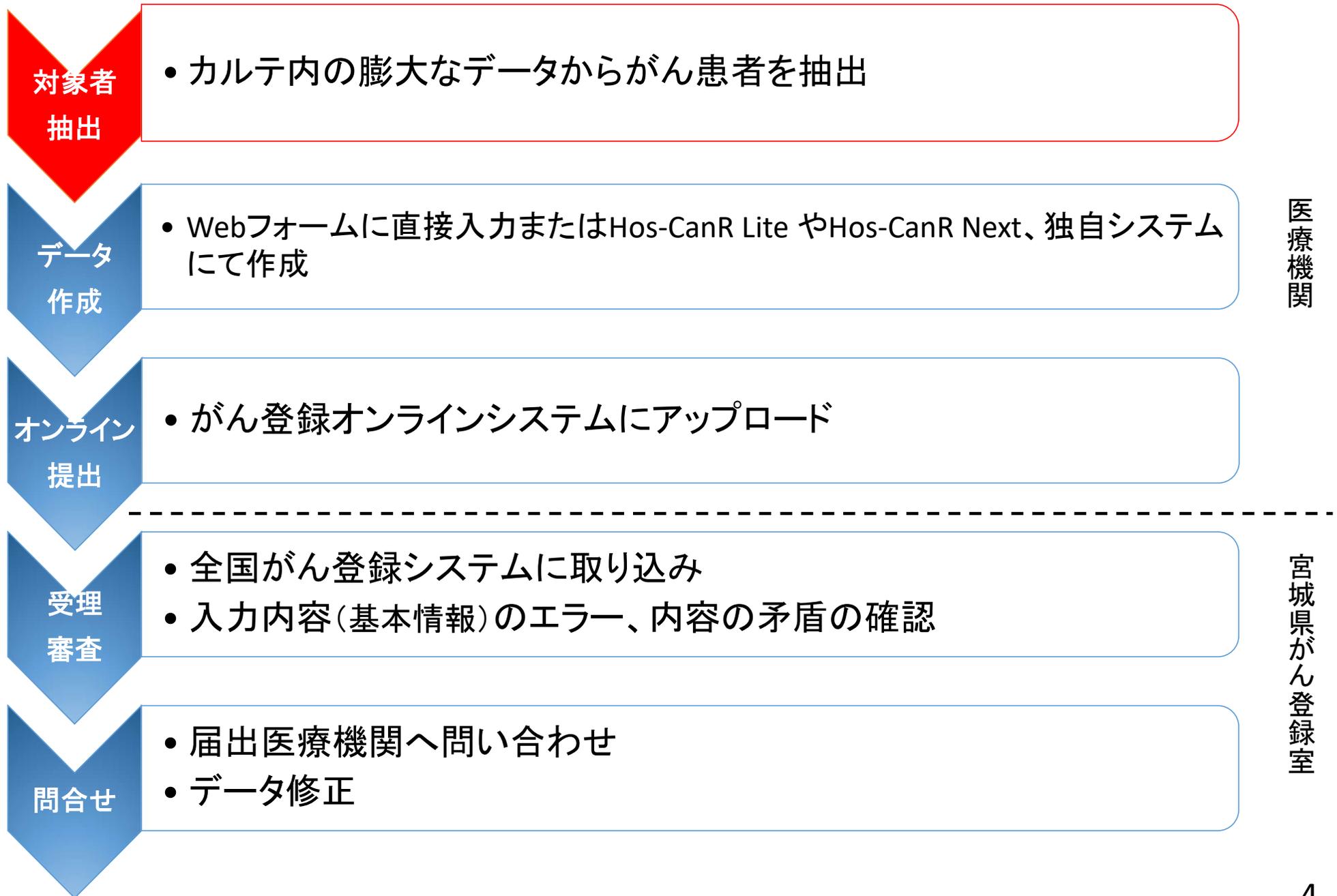
来年度以降も引き続きよろしくお願いいたします。

本日は、届出情報の登録・提出の負担を軽減するため、届出項目の考え方や来年度以降の届出についてのお知らせをお伝えします。

# 内容

1. 死亡診断書からの対象者抽出について
2. 今年度多かった問い合わせとその対策
3. Hos-canR Liteについて

# 1. 死亡診断書からの対象者抽出について

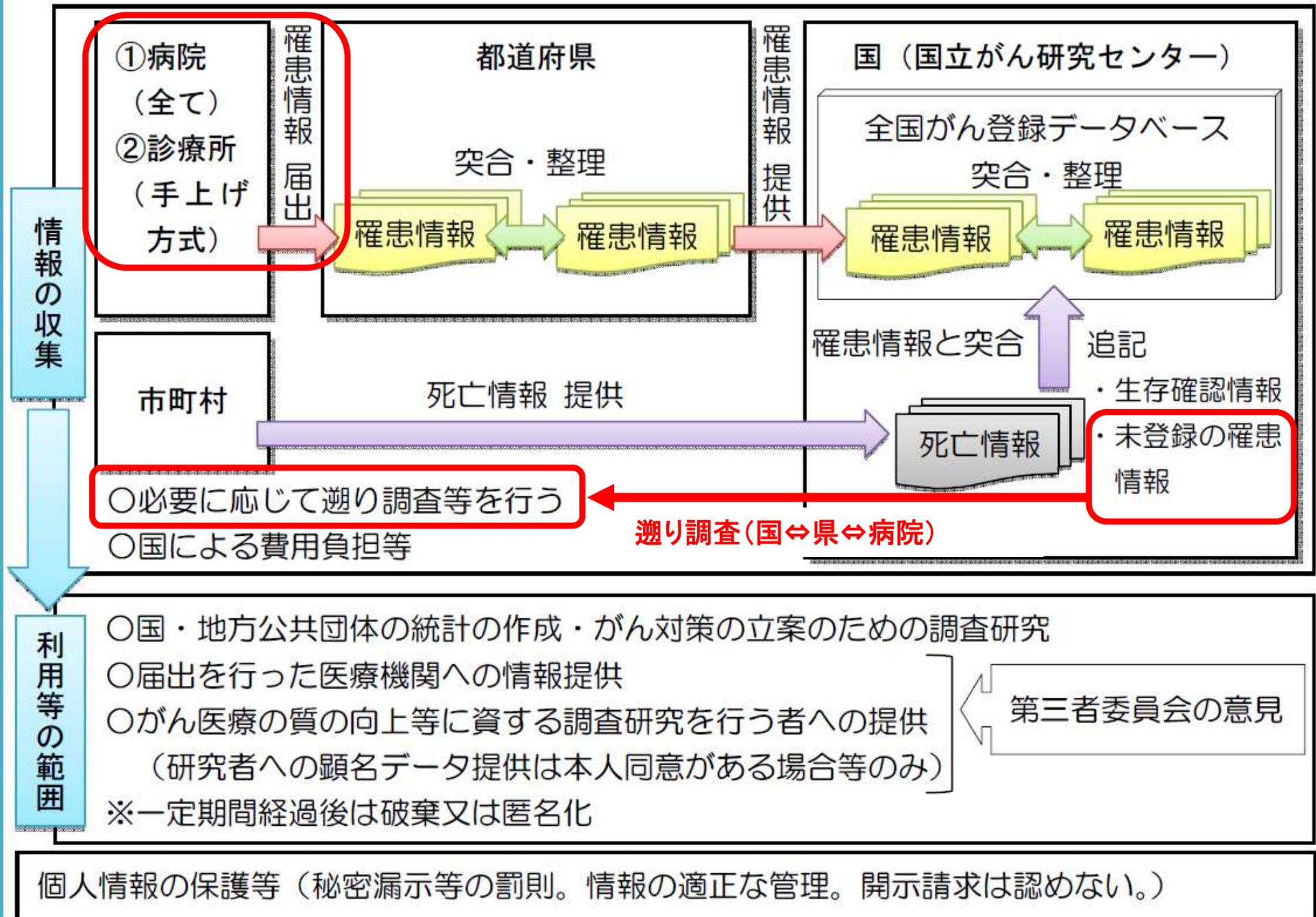


## &lt;参考 情報源の種類とその特徴&gt;

情報源	特徴
退院時病名・サマリー	詳細な情報，入院患者のみ
外来病名	
レセプト病名	疑い病名
病理診断報告書	正確，専門用語が使われる
検査記録（内視鏡・超音波検査等）	正確，専門用語が使われる
放射線診断報告書	正確，専門用語が使われる
放射線照射記録	正確，専門用語が使われる
抗がん剤の処方（処方箋・注射箋）	
手術台帳	専門用語が使われる
死亡診断書	
紹介状	
各種診断書等	
医師・診療科から	協力が必要

死亡診断書から対象者を抽出することで、「届出漏れ」が減り、「遡り調査」の減少につながります。

# 全国がん登録の実施等



# 遡り調査件数

実施年	症例年	対象施設数	対象者件数	対象者件数 (1施設の最大件数)
2025年	2022-2023年	95	404	78
2024年	2021年	78	249	39
2022年	2020年	70	222	36
2021年	2019年	87	315	37
2020年	2018年	92	342	30

遡り調査は調査期間が短く(調査期間は約1か月)、急いで対応する必要があるため、事前での届出にご協力ください。

# 届出対象になる症例の具体例

死亡診断書にがんと記載があれば届出が必要です。

例1)カルテでは、がん疑いだが、死亡診断書にがんと記載されている。

例2)受診歴はないが、自施設に救急搬送されそのまま死亡。死亡診断書にがんと記載されている。

例3)がんの既往があるが、他施設で診断・治療のため、詳細情報は不明。死亡診断書にがんと記載されている。

届出漏れの場合、遡り調査の対象となります。

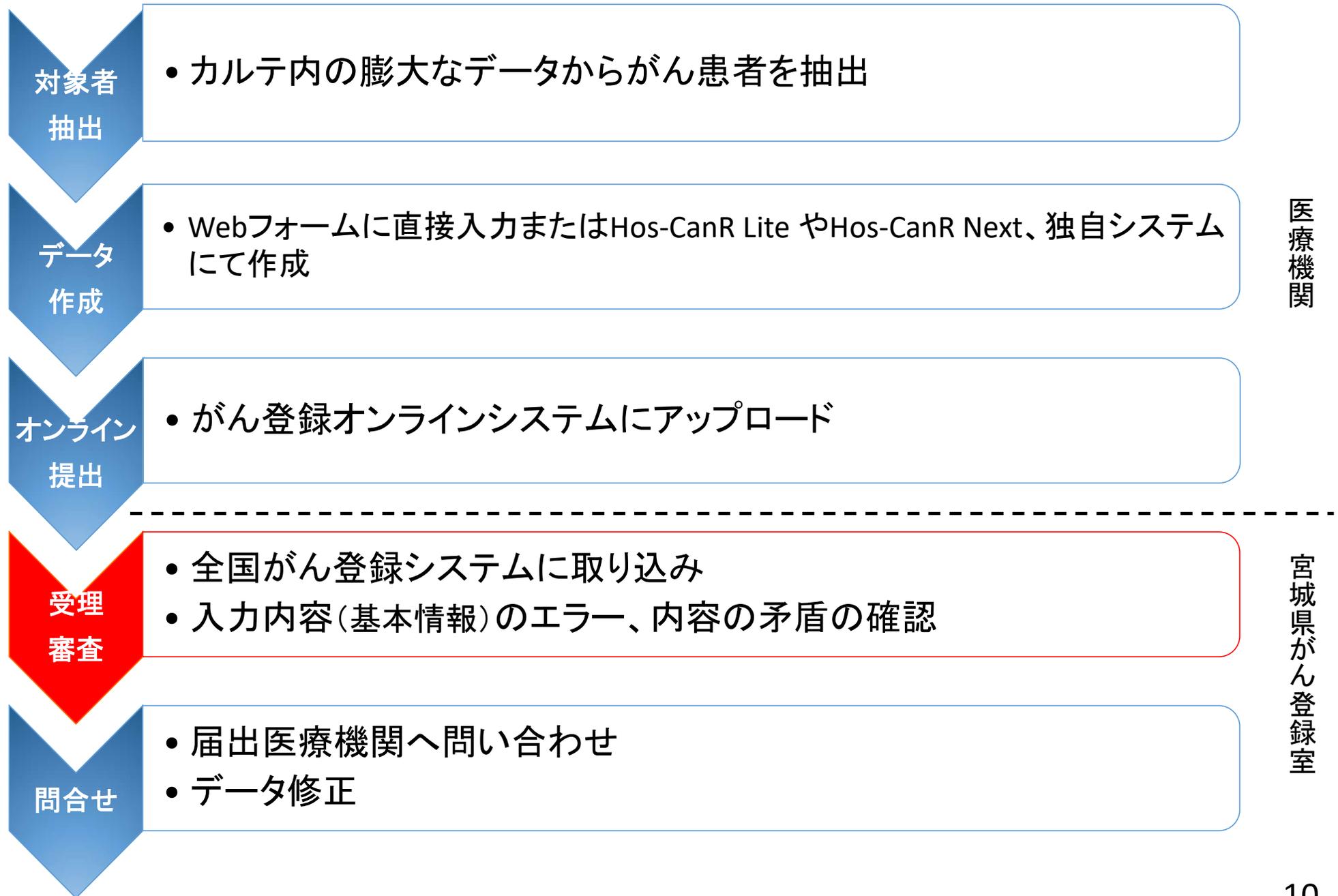
# まとめ

- ・届出対象者の抽出の際は死亡診断書も確認。
- ・死亡診断書にがんと記載されたものは、届出対象。

死亡診断書から対象者を抽出することで、届出漏れが減り、遡り調査の件数も減少します。

ご不明点等ございましたら、宮城県立がんセンター  
宮城県がん登録室のHPのQ&Aをご確認ください。

## 2. 今年度多かった問い合わせとその対策



# 届出エラーの種類

## ▶ 形式エラー

- ・既定の形式に合っていない など

## ▶ 入力内容のエラー

- ・単項目(1つの項目)

例) 診断時住所の一部抜け、漢字変換間違い

- × 涌谷町字一本杉 → ○ 涌谷町涌谷字一本杉
- × 仙台市青葉区本町1-1 → ○ 仙台市青葉区本町1丁目1-1
- × 大崎市古川西館 → ○ 大崎市古川西館

- ・複数項目の組み合わせによる矛盾

例) 側性と原発部位

進展度・術後病理学的 と 観血的治療の範囲

観血的治療の範囲 と 観血的治療の有無

診断根拠 と 病理診断 など

# 本日は3つの内容を解説

- ① 診断根拠が「6.臨床診断」
- ② 診断根拠と病理診断コードの組み合わせ
- ③ 経過観察の継続の場合

2024年症例	件数	施設数(134施設中)
①	66	32
②	214	43
③	140	22

# ①診断根拠が「6.臨床診断」

- 診断根拠「6.臨床診断」とは？

→診断根拠1～5の検査では「がん」と診断されなかった場合

(例)

皮膚がんについて、視診のみで診断した場合

**【注意】**

血液検査や画像検査については、5.臨床検査に含まれます。

区分		説明	備考
1	原発巣の 組織診陽性	病理組織診によるがんの診断 (骨髄を検体とする検査による白血病の診断も含む)	顕微鏡的(病理学的)診断 =直接がん細胞を確認 できるもの 
2	転移巣の 組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	
3	細胞診陽性	病理組織診ではがんの診断が無く、細胞診によるがんの診断(血液検査による白血病の診断も含む)	
4	部位特異的 腫瘍マーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝細胞癌でのAFP高値</li> <li>絨毛癌でのHCG高値</li> <li>神経芽細胞腫でのVMA高値</li> <li>ワルデンストレームマクログロブリン血症での免疫グロブリン高値</li> </ul>	顕微鏡的(病理学的)診断で はない =直接がん細胞を確認 できないもの  
5	臨床検査	上記以外の腫瘍マーカー、画像診断(CT、MRI、エコー、X線、PET)、内視鏡・手術の所見等	
6	臨床診断	1~5以外の検査(視診や触診での診断)	
9	不明	がんと診断された検査が不明な場合(他院での診断で情報が無い場合等)	

自施設・他施設に関わらず、**全経過**を通じて「当該がん」の診断の根拠を選ぶ

# ② 診断根拠と病理診断コードの組み合わせ

(例)

画像検査にて腺癌と診断した。

腫瘍の種類	⑧側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明	
	⑨原発部位	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門
		詳細分類	直腸
⑩病理診断	組織型・性状	腺癌	8140/3
診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断	
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他	
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input checked="" type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明	

# 考え方のポイント

- ・画像検査は診断根拠のどれにあたるか？  
→行った検査の診断根拠を確認する。
- ・画像検査の診断根拠で腺癌を選択してよいか？  
→診断根拠を確認後、病理診断コードを選択してよいか確認する。

区分		説明	備考
1	原発巣の 組織診陽性	病理組織診によるがんの診断 (骨髄を検体とする検査による白血病の診断も含む)	顕微鏡的(病理学的)診断 =直接がん細胞を確認 できるもの 
2	転移巣の 組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	
3	細胞診陽性	病理組織診ではがんの診断が無く、細胞診によるがんの診断(血液検査による白血病の診断も含む)	
4	部位特異的 腫瘍マーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝細胞癌でのAFP高値</li> <li>絨毛癌でのHCG高値</li> <li>神経芽細胞腫でのVMA高値</li> <li>ワルデンストレームマクログロブリン血症での免疫グロブリン高値</li> </ul>	顕微鏡的(病理学的)診断で はない =直接がん細胞を確認 できないもの 
5	臨床検査	上記以外の腫瘍マーカー、画像診断(CT、MRI、エコー、X線、PET)、内視鏡・手術の所見等	
6	臨床診断	1~5以外の検査(視診や触診での診断)	
9	不明	がんと診断された検査が不明な場合(他院での診断で情報が無い場合等)	

自施設・他施設に関わらず、**全経過**を通じて「当該がん」の診断の根拠を選ぶ

## 腫瘍情報

診断根拠が顕微鏡的(病理学的)診断でない時に用いてよい形態コード

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8000	新生物・腫瘍, NOS※	9350	頭蓋咽頭腫
8150	膵内分泌腫瘍	9380	グリオーマ
8151	インスリノーマ	9384/1	上皮下巨細胞性アストロサイト
8152	腸グルカゴン腫瘍	9500	神経芽腫<神経芽細胞腫>
8153	ガストリノーマ	9510	網膜芽腫<網膜芽細胞腫>
8154	膵内分泌・外分泌細胞混合腫瘍	9530	髄膜腫, NOS
8160/3	胆管細胞癌※※	9531	髄膜皮性髄膜腫
8170	肝細胞癌	9532	線維性髄膜腫
8270	嫌色素性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9533	砂粒腫性髄膜腫
8271	プロラクチノーマ(下垂体腫瘍)	9534	血管腫性髄膜腫
8272	下垂体腺腫/癌, NOS	9535	血管芽腫性髄膜腫
8280	好酸性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9537	移行型髄膜腫
8281	好酸性・好塩基性混合腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9538	明細胞髄膜腫/乳頭状髄膜腫
8720	黒色腫(眼又は皮膚に原発の場合)	9539	異型髄膜腫
8800	肉腫, NOS	9590	リンパ腫
8960	腎芽腫	9732	多発性骨髄腫
9100	絨毛癌	9761	ワルデンストレームマクログロブリン血症
9140	カボジ肉腫	9800	白血病, NOS

※ NOS Not Otherwise Specified 他に何らの説明や記載のないもの、詳細不明

※※ 日本独自ルール

### ⑬ 診断根拠が

- 4. 部位特異的腫瘍マーカー
  - 5. 臨床検査
  - 6. 臨床診断
  - 9. 不明
- の場合に選ぶ病理診断の一覧

「腺癌」は一覧表にないため、診断根拠が4、5、6、9の場合はこの表にある病理診断から選ぶ。

(例)

画像検査にて腺癌と診断した。

腫瘍の種類	⑧側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明	
	⑨原発部位	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門
		詳細分類	直腸
	⑩病理診断	組織型・性状	悪性腫瘍
診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断	
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他	
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input checked="" type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明	

「腺癌」は顕微鏡的診断(診断根拠が1~3)の場合に選択するもの。

「5.臨床検査」の場合は、大まかな「悪性腫瘍」(=新生物・腫瘍NOS)を選択する。

# ③経過観察の継続の場合

(例)

他施設でがんと診断され、経過観察を開始。自施設で継続して経過観察を行った場合

診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他



初回治療	観血的治療	⑱外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑲鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑳内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉑観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 腫瘍遺残なし <input type="checkbox"/> 4. 腫瘍遺残あり <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
	その他治療	㉒放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉓化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉔内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉕その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明

# ルールの確認（初回治療）

マニュアル  
23ページ

- ・初回治療の定義を理解する

→初回治療とは、がんの縮小や切除を目的として行った治療のこと。

- ・⑮外科的治療～⑳その他治療について

→がんの縮小や切除を目的とした治療のみ反映させる。

# ルールの確認（治療施設）

マニュアル  
39ページ

1. 自施設で**初回治療をせず**、他施設に紹介又はその後の経過不明
2. 自施設で**初回治療を開始**
3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して**初回治療を継続**
4. 他施設で**初回治療を終了後**に、自施設を受診
8. その他

# 経過観察における例外的な取り扱いのルール

- ・経過観察について

→経過観察が計画された場合は、経過観察という行為を初回治療とみなす。

- ・経過観察を開始した施設

→経過観察を開始した施設は、治療の開始から終了までその施設で行ったことと考える。

- ・経過観察を継続した施設

→経過観察を継続した施設は、初回治療終了後の受診と考える。

- ・経過観察の場合の⑮外科的治療から⑳その他治療まで

→経過観察はがんの縮小や切除は行わないので、すべて2.自施設で施行なしを選択する。

# 経過観察を自施設で開始した場合

診断情報	①診断施設	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断
	②治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他

初回治療	観血的治療	⑩外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑪鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑫内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑬観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 腫瘍遺残なし <input type="checkbox"/> 4. 腫瘍遺残あり <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
	その他治療	⑭放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑮化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑯内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑰その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明

# 経過観察の継続の場合

(例)

他施設で診断され、経過観察を開始。自施設で継続して経過観察を行った場合

診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他

初回治療	観血的治療	⑬外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑭鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑮内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		⑯観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 腫瘍遺残なし <input type="checkbox"/> 4. 腫瘍遺残あり <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
	その他治療	⑳放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉑化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉒内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
		㉓その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明

# まとめ

- ・診断根拠の6.臨床診断はほとんどない。
- ・届出の症例がどの診断根拠にあたるのか、その診断根拠はどのような病理診断コードが選択できるのか確認する。
- ・経過観察を初回治療として行った場合の治療施設の選択は注意する。

一度届出いただいたものについて、当室から問い合わせがあると再度カルテの見直しなど、手間がかかります。

届出マニュアルや当室から配布している手引きをご確認いただきますようお願いいたします。

# 3. Hos-canR Liteについて

- 国立がん研究センターが無償で提供している。
- 全国がん登録に必要な項目に対応。

The screenshot shows the 'Hos-CanR Lite' web application interface. The left sidebar contains navigation options: 'Hos-CanR Lite', 'Hos-CanR Lite', '全国がん登録届出書', '登録書', '全国がん登録届出書', '検索', '登録番号', '登録検索', '新規登録', 'メニュー', '登録データ一覧', 'データの入力', and 'データの出力'. The main content area is titled 'データの入力 - (全国がん登録届出書)'. It features a top navigation bar with '標準モード', '品質管理モード', '保存', '印刷', '確認', and 'キャンセル'. The form includes fields for '登録番号', '登録番号(Hos-CanR Lite管理項目)', '姓(氏名)', '名', '姓', '性別', '生年月日', '診療科名称', '診療科コード', '性別', '専攻科', '専攻科', '専攻科', '診療科', '診療科', and '診療科'.

## Hos-CanR Lite の提供

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/cancer\\_control/can\\_reg/national/hospital/e-rep/hoscanrlite.html](https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/hospital/e-rep/hoscanrlite.html)

# Hos-canR Liteのバージョンアップについて

- 不定期に最新版がリリース。
- リリース時は、国立がん研究センターからメールでお知らせ。  
(Hos-CanR Lite導入時の登録アドレス宛て)
- 届出情報提出の際は、最新版にバージョンアップしてからご提出ください。



ご利用中のバージョンは、ログイン画面に表示  
最新は、SP1.45 (R8年1月30日時点)

# 問合せ先

届出に関すること

## 宮城県がん登録室

- ・個人情報<sup>はメールで送らない</sup>でください。
- ・当室ホームページの「届出に役立つ資料」も参考にしてください。



電話：022-796-3624 受付時間 平日 9時から17時

E-mail: registry@miyagi-pho.jp

Hos-canR Liteに関すること

## 国立がん研究センター

別紙「全国がん登録リンク集」の以下の項目を参照

◇ がん情報サービス (Hos-canR Liteの提供)

